

平成26年度指定管理者評価シート

1. 管理運営の状況等

(1)施設名	さいたま市武蔵浦和コミュニティセンター
(2)施設概要	<p>①所在地 さいたま市南区別所7-20-1</p> <p>②施設の設置目的 市民のコミュニティ活動の施設として設置</p> <p>③施設の概要 【開館】平成25年1月4日 【構造】鉄骨造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造・鉄筋コンクリート造 地下1階 地上10階建のうち8・9階部分 【延床面積】1847.97㎡ 【主要施設】多目的ホール(定員194名)、レクリエーションルーム1(定員45名)</p>
(3)指定管理者	オーエンス・アイルグループ
(4)指定期間、指定管理料	<p>①指定期間 平成25年1月4日～平成28年3月31日</p> <p>②指定管理料 平成24年度91,624千円 平成25年度336,530千円 平成26年度341,195千円</p>
(5)施設の管理運営の内容	<p>①運営業務の状況(利用状況含む)</p> <p>◇利用状況 【利用件数】16,117件(前年度 15,144件) 【利用人数】181,808人(前年度 173,693人) 【稼働率】98.5%(前年度 96.3%) 【利用率】83.8%(前年度 78.6%)</p> <p>◇業務実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ活動・生涯学習活動の拠点施設としてのコミュニティセンターの広報活動として、ホームページの更新と毎月発行の「コミセンだより」により、自主事業の開催やコミュニティ活動等の情報提供及び利用上の案内等を掲載した。 ・主催事業の開催やコミセンまつり等の自主事業やイベントを通して、地域団体の交流や協働事業の推進、地域文化の振興を図った。 ・複合公益施設の管理運営については、サウスピーア連絡調整会議や代表者連絡会議を通じて、それぞれの施設の機能が十分に発揮できるように共用部分の有効的活用や案内表示の改善、空調設備の調整その他施設設備の維持管理に努めた。また館内の警備保安と駐車場・駐輪場の適正な貸出しを行った。 ・施設の貸出しについては、公共施設予約システムの更新に対応準拠し、引き続き公平公正な貸出し業務の推進と利用者サービスの向上に努めた。 <p>②維持管理業務の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度計画による施設、設備等の保守管理及び修繕を実施・完了した。 ・施設警備については、警備業務外の南区役所の業務補助等も実施してきた。 <p>③その他(自主事業等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページを利用者に見やすく、施設をより有効利用して頂くためにリニューアルした。自主事業は年間135回実施し、地域のコミュニティ・市民活動のサポート・生涯学習に貢献した。
(6)収支状況	<p>①収入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理料 341,195千円 (前年度 336,530千円) ・文化事業収入 2,144千円 (前年度 2,000千円) ・その他収入 1,560千円 (前年度 1,410千円) <p>②支出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人件費 169,049千円 (前年度 186,049千円) ・事務費 73,114千円 (前年度 72,192千円) ・施設管理費 73,034千円 (前年度 73,033千円) ・事業費 2,495千円 (前年度 2,291千円)
(7)その他	<p>利用者からの意見・要望等への対応については、窓口聴取のほか、電話によるものも含めてカード化して分類し、サウスピーア内の他の施設と調整しながら解決を図った。また、毎年度第三者機関による利用者満足度調査を実施し、利用者の満足度と併せて意見・要望を吸収しているが、これまでの意見・要望の実施可能なものについて、全て改善を図った。</p>

2. 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
関係法令順守・個人情報保護	業務に従事するもの全員を対象に、年2回以上のコンプライアンス研修及び個人情報の保護に関する研修を実施した。(3階総合案内と8階コミセン受付係は3回実施した。)そのほか、PMS(個人情報保護マネジメントシステム)テストを全員に課し、全問正解になるまで担当者がフォローアップした。
自主事業実施と地域のコミュニティ活動の支援	地域住民の学習要求に応じた様々な講座・教室の開設をはじめ、学習者の各世代に対応した講座を企画し実施した。また、コミセンまつりなどを通して、地域グループの交流と協力体制の基盤づくりに努め、地域連絡協議会委員や南区コミュニティ課とも連携を図りながら事業を進めたことにより、地域のコミュニティセンターとしての役割が定着してきている。
経費削減・省エネルギー推進によるコスト削減	利用者に影響の無い共用部分や事務スペース部分などで照明の間引きや消灯を実施するほか、空調の設定温度の一定保持に努めた。また、サウスピア全体のエネルギー使用量をデータベース化し、不要な消費を避けるよう省エネルギー管理を行った。
利用者安全確保の取り組み等	定期的消防避難訓練には、区役所、図書館、老セン、子育て支援センターの各自衛消防隊のほか、コミセン利用者にも訓練に参加していただき、避難経路の確認や消防設備の基本的操作の習得を内容として実施した。また、連絡調整会議等において、館内表示の改善や複合施設としての危機管理マニュアルの整備充実を進めた。

3. 評価

(1) 指定管理者による評価

武蔵浦和駅を中心としたこの地域は、新しい住民が多く、主催事業等の参加者が多い一方で、住民同士のコミュニケーションが十分でなく、コミュニティセンターが、引き続きその集客力を通じて、地域コミュニティ形成の役割を担っていくことを念頭に運営してきた。また、複合施設という特性や住民の要望が高い地域であるだけに、コミセンのみならず、サウスピア全館の管理運営、地域との連携に支障が無いよう、運営をしてきた。(さいたま市様との定例会で情報の共有化、報告を綿密に行ってきた他、サウスピア内関係各所との連絡調整会議、地域団体との地域連絡協議会を実施してきた。)自主事業については平成24年度、平成25年度の利用者の反応・意見を取り入れ、135回に及ぶグループ独自の強みを生かした事業を実施してきた。(スポーツ健康系事業・芸能系事業)いずれも参加率は平均90%を超える結果となり、市民の利用者に満足頂けたと認識している。またサークル活動・市民活動の支援につながる事業に力をいれ、南区関係各所との協同事業・地元大学・NPOとの連携事業も実施した。(コミセン祭りでは南区長にも開会式にご出席して頂き、テープカットを行った。)

(2) さいたま市の評価(評価担当課:市民局市民生活部コミュニティ推進課)

総合評価 **(B)** ※A~D

- ・開館から2年が過ぎ、概ね良好な管理運営を行なえていると思われる。
- ・本市コミュニティセンターとしては、市の外郭団体以外では初の指定管理者であり、民間のノウハウを生かした研修の実施や、アンケートの内容も講座内容に応じて質問事項を変えるなど利用者のニーズを把握する努力を怠らない努力をしている。
- ・他のコミセンとの連携については、指定管理者が異なるため今後期待するところがあるが、市民活動サポートセンターや公民館などとの連携には積極的である。
- ・施設の維持管理については、多くの維持管理業務を直営で行っており、きめ細かい維持管理が行われている。

(3) 来年度の管理運営に対する指導事項等

引き続き、3つのコア機能(生涯学習・地域交流・地域支援)の充実と市民との協働が図れるよう、コミセンまつりをはじめとする自主事業の積極的な展開を行うよう指導していく。